

<p>【教材・教具名】 ビー玉迷路</p>	<p>【教科・領域】 自立活動</p>
<p>【教材の使用材料】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・木箱（手作り） ・段ボール ・ペット板（アクリル板でも可能） ・蝶つがい（アクリル用） ・磁石 ・シール ・ビー玉 ・ペットボトルキャップ
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応動作（ビー玉を目で追いながら、手で箱を操作する） ・視覚認知の力を付ける ・（バランスボードに乗りながら行うことで）体幹を鍛える 	
<p>○使用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が示した番号にビー玉を動かして穴に入れる。 <p>※ビー玉を移動させる番号の提示方法には色々なバリエーションがある。</p> <p>【例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が番号を一つずつ伝える。 ・ホワイトボードに数字を書く。 （2→6→4・・・） ・計算式（$2+3$、$6\div 2$ など）で番号を伝える。 <p>【慣れてきたら・・・】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バランスボードに乗って行うことで、難易度を上げる。 ・ストップウォッチやタイマーで時間を意識させる。 	 
<p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷路を取り替えることができるようにすることで、生徒の実態に合わせたトレーニングができるようにした。 	
<p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めは、ビー玉を目で追うときに、首も動いてしまっていたが、慣れてくると眼球だけを動かしてビー玉を見ることができるようになってきた。 	
<p>○参考文献</p> <p>奥村智人（2011）『教室・家庭でできる「見る力」サポート&トレーニング—発達障害の子どもたちのために』中央法規</p>	